

外務省 総合外交政策局
国際安全・治安対策協力室
室長 宮本新吾様

2016年5月9日

前略

国際 NGO トランスペアレンシー・インターナショナル及び特定非営利活動法人トランスペアレンシー・ジャパンは、5月12日のロンドン腐敗対策サミットの成功を願い、諸国が明確で先進的な取り組みと履行協力をするよう望みます。

腐敗は社会にさまざまな影響を与えます。たとえば、経済成長を阻み、法支配をなきものとし、健全性や教育の効果を弱め、競争を阻み投資に影響を与えます。腐敗によって人々が政治機構や政治家を信頼しなくなり、社会が不安定で不安なものになります。

5月12日のロンドン腐敗対策サミットは腐敗との闘いのための類のない試みです。各国首脳が腐敗を防ぐ姿勢を明確に打ち出し、腐敗への無関心を止め、人々が求める公正と説明責任をおし進めれば、サミットは成功するでしょう。

トランスペアレンシーインターナショナルはロンドン腐敗対策サミットが成功する条件を次のように考えます。

- ・なるべく高い職位の政府代表がサミットに参加し腐敗と闘う姿勢を強く打ち出すこと。
- ・参加国がサミットでその国に応じた明確で期限を切った関わりをすること。
- ・5月12日のサミットで市民社会と財界（ビジネス）が腐敗への取組において果たす役割に注目すること

話し合った結果の約束にすべての国が署名できるわけではないことはわかりませんが、日本国がリーダーシップを発揮して約束に取り組んでほしいと願います。トランスペアレンシー・インターナショナルがサミットに望む優先項目を別紙に添えます。これをよく話し合いサミットで結ばれる約束の履行に取り組んでくだされば幸いです。

Jose Ugaz (ホセ・ウガツ)

若林亜紀

トランスペアレンシーインターナショナル

トランスペアレンシー・ジャパン

会長

理事長

